

A DYING ART

現代は“文字誕生以前”に近づいているのか？
読書の終焉と「ポスト活字時代」の到来

TikTokやInstagramなどのソーシャルメディアを延々とスクロールし、本を読む時間を失いつつある現代人。アメリカでは今、余暇の娯楽として読書より賭博を選ぶ人の方が多いという。米アトランティック誌のライターであるローズ・ホロウィッチ氏は、知識や情報獲得の主たる手段として人間が書物を読んできた時代が終わったと指摘するとともに、その後に到来している現代を「ポスト活字時代」と称し、読書習慣の喪失によって、私たちの脳から総合的な判断力や論理的思考力が奪われ、さらには政治のあり方までも変質させていると主張する。

写真：AYO Production / Shutterstock.com



インタビュアー

ビアンナ・ゴロドリガ

アメリカのジャーナリスト。1978年、モルドバ（旧ソ連）生まれ。1歳のときに家族が政治難民として出国、アメリカに渡る。大学卒業後、金融サービス業界でキャリアをスタートさせるも、2001年からジャーナリズムの世界へ転身。以後、さまざまなテレビ局に勤め、'17年、CNNに入局。現在は、上級国際問題アナリストとアンカーを務める。

ゲスト

ローズ・ホロウィッチ

米誌『アトランティック』のスタッフライター。イエール大学で歴史学を専攻し、2023年に卒業。NBCニュースやロイター通信での勤務を経て、現職。得意とする領域は、教育（特に高等教育が抱える課題）、テクノロジー、アメリカ文化。「現代人の読書離れ」や「エリート大学における成績インフレ・教員評価の弊害」などを取り上げる記事で注目を集める新進気鋭のジャーナリスト。



Listening Quiz

61 読書より賭博に興じる人が多いアメリカ



Bianna Golodryga Are we witnessing the death of reading? Our next guest says so. And [as] we endlessly scroll through TikTok, YouTube, and Instagram, we're also seeing attention spans at the same time declining. In her new cover story for the *Atlantic*, writer Rose Horowitch argues that we're heading for a postliterate era.* Rose Horowitch joins me now from New York.

Rose, welcome to the program. The headline itself is a pretty bold declaration: "The Age of Reading Is Over"—not declining but over. How did you come to that conclusion?



Rose Horowitch So, it is clear from the data that Americans are reading much less than we used to. The share of Americans who read a book or an article on any given day declined by 40 percent over the past 20 years. In 2022, which is the last year that we have good data for, fewer than half of all Americans read a book of any kind. And we know that, now, gambling is a more popular leisure activity than reading is. And so what I argue in the piece is that this data represents a broad shift in society. When reading and writing first appeared 6,000 years ago, it fundamentally changed the way people thought, the way politics and culture worked. And I argue that we're now seeing that shift happen again as reading goes away. We're seeing shifts in our consciousness, in how we elect candidates, in what our culture values. And so I try to point out where those shifts are all around us.

art:
《タイトル》技術、技、ノウハウ
witness:
～を目撃する、～に立ち会う
scroll through:
～をスクロールする
attention span:
集中力が持続する時間
cover story:
カバーストーリー、（見出しや関連画像などが雑誌の表紙にも出ている）特集記事
head for:
～に向かう、～の方に進む
era:
時代
bold:
大胆な、思い切った
declaration:
宣言、断言、主張
share:
割合
any given:
どんな～でも、いずれの～でも
leisure activity:
気晴らし、娯楽
piece:
記事
represent:
～を表す、象徴する
broad:
広範にわたる
shift:
変化、変遷
fundamentally:
根本的に
consciousness:
意識、自覚
candidate:
立候補者
value:
～に価値を置く
point out:
～を指摘する

※お聞き苦しい箇所がありますが、放送時のものです。ご了承ください。

ビアンナ・ゴロドリガ　私たちは「読書の終焉（しゅうえん）」を目の当たりにしているのでしょうか。次に迎えるゲストによれば、そのようです。TikTokやYouTube、Instagramなどを延々とスクロールしているうちに、私たちの集中力の持続時間も短くなっています。ライターのローズ・ホロウィッチさんは、アトランティック誌の最新のカバーストーリーで、私たちは「ポスト活字時代」に向かっている、と主張しています。ここでニューヨークからローズ・ホロウィッチさんをお迎えします。

ローズさん、番組へようこそ。「読書の時代は終わった」という記事の見出しそのものがかなり大胆な宣言ですね。読書が「廃れつつある」のではなく、「終わった」と。どのようにしてその結論に達したのですか。

ローズ・ホロウィッチ　そうですね、アメリカ人が以前に比べて、ずいぶんと本を読まなくなっていることはデータから明らかです。1日に本や記事を読むアメリカ人の割合は、過去20年間で40％も減少しました。2022年、これは信頼できるデータが得られる直近の年ですが、何らかの本を一冊でも読んだというアメリカ人は国民の半数未満でした。そして今や、娯楽としては読書よりギャンブルが人気です。ですから、私がこの記事で論じているのは、「このデータは、社会に広く浸透した変化を示している」ということです。6000年前に初めて読み書きが誕生したとき、それは人間の考え方や、政治、文化のあり方を根本から変えました。そして、私が主張しているのは、今、人が読書をしなくなることで、再び同じような変化が起きつつあるということです。私たちの意識や、選挙でどのようにして候補者を選ぶか、自分たちの文化が何を重んじるかということに変化が生じています。ですから私は、そうした変化が私たちの周りのどこで起きているのかを指摘しようとしているのです。





デジタル文化の隆盛に伴い、洋の東西を問わず、読書を楽しむ人の数、またその時間は減っていると言われる



ホロウィッチ氏がアトランティック誌に載せた記事。「読書の終焉が到来した」と題され、後には「かつて楽観主義者たちは、誰もが読み書きできるようになるのは必然だと信じていた。しかし今や、読書の時代は人類の歴史における短期間の例外的な出来事に過ぎなかったのではないかと思えてくる」というセンセーショナルなリードが続いている

■a postliterate era
postliterateという語は、直接的に分解して解釈すれば〈post-（…後の）＋literate（読み書きのできる）〉となる。しかし、まさにホロウィッチ氏が述べているように、これは文字通り「読み書きできなくなった」という意味ではなく、「大多数の人が従来の意味で『読み書き』していた」（＝例えば、教養を身に付けるための基本的な手段が「読書」であったような）時代から、それとは様相の異なる別の時代へと移行しつつある、という意味合いで使われている。